

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

資料1

平成28年 1月27日

協議会名: 上三川町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東交通株式会社	上三川町デマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> ・町の広報やホームページ等で事業のPRを行ったことで、利用登録及び利用人数の増加が図られた。 ・町高齢者運転免許証自主返納奨励事業の褒章品にデマンド交通の利用券を採用した。 	A	計画どおり事業が実施された。	A 目標利用人数50人/日に対して、54.2人/日を達成した。また、月別に見ても全ての月で50人/日を達成した。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続的に実施する。 ・引き続き、広報やホームページ等で事業のPRを実施し、利用登録及び利用人数の増加を図る。 ・広告収入の安定化を図る。 ・アンケート等で利用者の意見を聞き、事業内容の見直しを行う。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

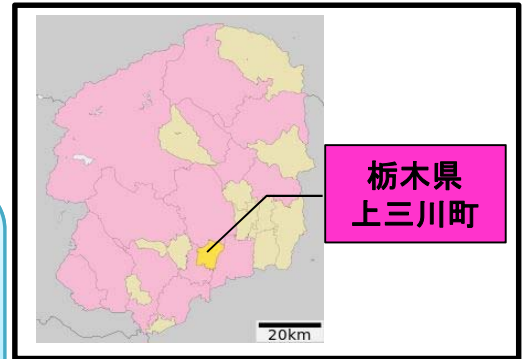
平成28年1月27日

協議会名:	上三川町地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。</p> <p>今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。</p> <p>このような中、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。</p>

平成27年度 上三川町地域公共交通会議（栃木県上三川町） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通の現況

本町は、下野市と接する行政界西側にJR宇都宮線が南北に縦断し、JR石橋駅が近接する。また、民間会社の路線バスが6路線存在する。栃木県の年齢別人口調査による平成27年10月1日時点の高齢化率は20.3%と栃木県内で最も低い（※H28.1.1時点では20.6%）が、急速な少子高齢化の進展や人口の減少、マイカーの利用を前提とした生活スタイルの定着等により、公共交通の利用は減少傾向にあり、その維持継続が困難な状況が生じている。



事業の目的・必要性

マイカーの普及等により公共交通の利用者が減少している一方で、高齢者等の中には、通院や買い物などの移動手段として公共交通を必要としている町民も存在する。

今後、高齢化社会の進展により、公共交通に対する要望も増加、多様化することが想定され、公共交通の充実を求める町民ニーズへ対応するための取り組みが求められている。

このような中、利用者が低迷していた定時定路線の町の巡回バスを平成25年2月末で終了し、3月からは、より町の実態に即した長期的で持続可能な地域公共交通としてデマンド交通の運行を実施している。

事業の概要

地域公共交通を確保・維持する取り組みとして、町内に終点がある路線バスを「地域間幹線系統」として、これに接続させる形で事前予約型・区域運行のデマンド交通を運行している。

実証運行期間 : 平成25年3月1日～平成28年3月31日
本格運行(予定) : 平成28年4月1日～

【デマンド交通「かみたん号」】

事業者名: 関東交通株式会社
運行区域: 上三川町全域及び指定町外9施設
運行日: 月曜～金曜(土日、祝日、年末年始運休)
運行時間帯: 8時～17時
運行本数: 9便/日(1時間1便)
運行車両: 2台
運賃: 大人(中学生以上) 町内200円、町外300円
小学生 一律100円
未就学児 無料

※平成27年7月1日～平成27年9月30日の期間
運行時間帯: 8時～18時
運行本数: 10便/日(1時間1便)

※平成27年10月1日～
運行車両: 3台

面積	54.39km ²	
人口 (H28.1.1時点)	31,449人	
	15歳未満	4,703人
	65歳以上	6,484人
高齢化率	20.6%	
世帯数	11,240世帯	

協議会開催状況

上三川町地域公共交通会議の開催状況

- ・第1回(平成26年6月11日)
地域内フィーダー系統確保維持計画策定(平成27年度計画)
- ・第2回(平成28年1月27日)
事業評価について

前回の事業評価結果の反映状況

○前回の事業評価結果に基づき、以下の点を事業に反映させた。

- ・町の広報やホームページ等で事業のPR活動を継続して実施した。それにより、利用登録者数は増加し続け、利用人数の増加が図られた。
- ・町高齢者運転免許証自主返納奨励事業の担当課と連携し、対象者(満65歳以上の運転免許証自主返納者)への褒章品をデマンド交通利用券3,000円分とした。

定量的な目標・効果

【目標】

- ①高齢者等の通院のための移動手段を確保する。
- ②高齢者等の買い物のための移動手段を確保する。
- ③町内の地域公共交通サービスの平準化による交通不便地域を解消する。
- ④町内はもとより、隣接する市の病院や商業施設等への移動手段を確保する。
- ⑤一日あたり50人分の移動手段を確保する。

【効果】

本事業の実施により、次のような効果が期待できる。

- ①町民が広く「デマンド交通」を利用することによる公共交通の利用者数の増加と運賃収入の増加。
- ②自動車を利用出来ない高齢者等が必要とする公共交通サービスの継続的な提供。
- ③高齢者等の外出機会の増加と社会参加や交流の促進、並びに「引きこもり」の減少や身体的、精神的な健康の維持・増進。

アピールポイント

- ・低廉な料金かつドア・トゥ・ドアのフルデマンドで運行することにより、高齢者等の経済的負担、移動の負担を軽減し、交通不便地域を解消している。
- ・町内全区域だけでなく、町民アンケートで要望の高かった町外の病院、駅、商業施設を運行区域に反映させており、移動の利便性を高めている。
- ・地域の企業が車内広告を掲載することにより、地域経済の活性化が期待できる。

今後の改善点

- ・事業を継続的に実施し、高齢者等の交通手段の確保に努める。
- ・事業のPR活動を引き続き実施し、利用の動向を注視していく。
- ・広告収入の安定化に努める。
- ・アンケート等で利用者の意見を聞き、事業内容の見直し、効率化を図る。

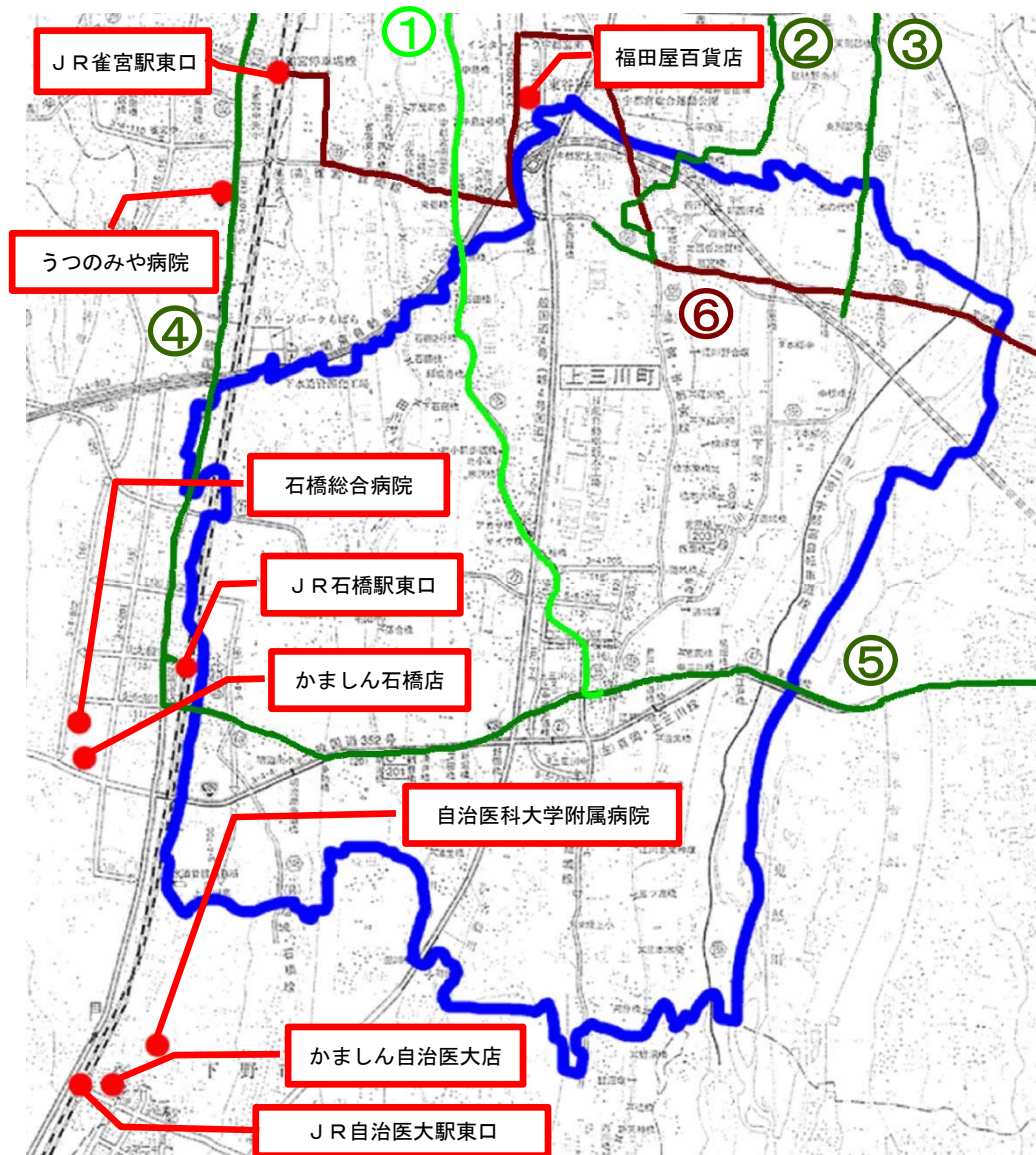
目標効果の達成状況

【上三川町デマンド交通】

利用者数:13,111人 運行日数:242日 平均利用人数:54.2人/日(H26.10~H27.9)

- ・目標の50人/日を達成した。また、月別に見ても、全ての月で50人/日を達成し、安定している。これは、継続的なPR活動や口コミにより、多くの町民にデマンド交通が周知され、利用登録者数が増加を続けている結果である。
- ・自動車を利用できない高齢者等の通院や買い物のための交通手段を確保することで、交通不便地域の解消にもつながっている。

上三川町デマンド交通運行区域



【凡例】

- 行政区域境（区域内を運行）
- 幹線系統（国庫補助対象路線）
 - ① 関東自動車（駒生営業所～上三川車庫）
- 幹線系統以外
 - ② 関東自動車（駒生営業所～本郷台西汗）
 - ③ 関東自動車（駒生営業所～東汗）
 - ④ 関東自動車（JR宇都宮駅～JR石橋駅）
 - ⑤ 関東自動車（JR石橋駅～真岡車庫）
 - ⑥ 東野交通（JR雀宮駅～真岡車庫）

区間運行場所（×9）

うつのみや病院
 石橋総合病院
 自治医科大学付属病院
 福田屋百貨店（FKDインターパーク店）
 スーパーマーケットかましん石橋店
 スーパーマーケットかましん自治医大店
 JR雀宮駅東口
 JR石橋駅東口
 JR自治医大駅東口

【利用実績】

H26.10	1,196人	H27.4	1,121人
H26.11	1,014人	H27.5	900人
H26.12	1,088人	H27.6	1,153人
H27.1	1,014人	H27.7	1,160人
H27.2	1,078人	H27.8	1,129人
H27.3	1,203人	H27.9	1,055人

合計 13,111人